

# Sankka

讃歌  
夏号

京都九条病院 Communication Book

◎特集① 脳神経外科部長に  
お聞きしました。

「断らない治療」をモットーに、  
つねに最新の知識・技術を取り入れ、  
最高の医療を提供しています。

◎特集②

ゲストリレーション、総合相談について

◎コミュニケーション広場

○知つててよかった「お薬豆知識」講座(第14講目)

○暮らしの中で病氣予防「健康ライフ」講座(第19講目)

○ドクターの「プライベート拝見」数珠つなぎ(第23弾)

○私の病院自慢あれこれ(第23回)

◎院内散策⑩

○「第7回院内コンサート」



脳神経外科部長 村上守



院長 山本垂水

vol.23  
2011 Summer  
夏号

「断らない治療」をモットーに、  
つねに最新の  
知識・技術を取り入れ、  
最高の医療を  
提供しています。



京都九条病院  
脳神経外科部長

村上 守

Mamoru Murakami

脳梗塞を疑われる症状が出たときは、直ちに受診を

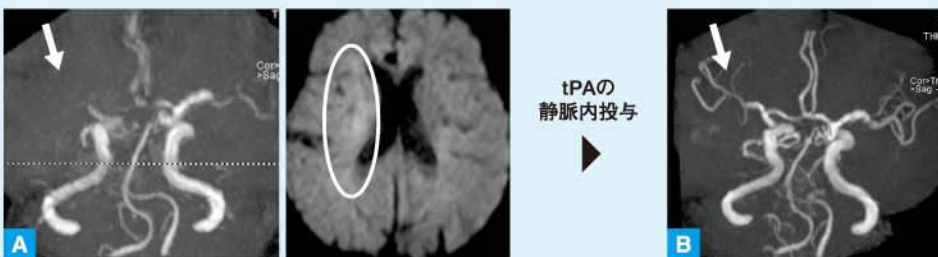
一般に脳卒中と呼ばれるものは、脳梗塞、脳内出血、クモ膜下出血など、脳の血管に何らかの障害が起きることによって発症する病気の総称です。脳卒中は日本人の死亡原因の第三位を占めており、そのなかでも近年著しく増加しているのが脳梗塞です。これは脳動脈が血栓などによって閉塞し、脳に必要な酸素や栄養が行かなくなると脳組織が壊死してしまうものです。

脳の場合、血管が詰まってしまつたら、すぐに再開しないと脳組織が死んでしまいます。そのリミットは6時間とされ、それ以上たつてから脳血栓を取り除いて血管を再開通させても、意識障害や片麻痺、言語障害などの後遺症が残りにやすいと言われています。そのため、脳梗塞をはじめ脳卒中の治療はスピードが大事。うまくしゃべれない、手足に力が入りにくく動みにくい、顔が少し歪むなど脳梗塞を疑われる初期症状が出た時には、夜中でも休日でも直ちに受診に来てください。「ちょっと手足がしびれたけれど、

5分ほどしたら症状も治まったし、まあ明日病院にいけばいいや」とか「今日は休日だし、週明けに病院に行つて検査してみよう」など、受診を先延ばしにしてはいけません。こうした初期症状が出て3時間以内に「tPA」という血栓溶解剤を投与すれば、詰まった血管を再開させることができますし、脳卒中にならないですむ場合もあります。また「tPA」の投与をしても効果がない場合、カテーテルを使った血管内治療を行い、機能回復の可能性を高めることができます。そのカテーテル治療についても次々と新しい器具が開発をされてきており、風船型に比べて、血栓を引っ掛けて取り除くフック型のカテーテル、メルシーリトリバーやペナンプラという血栓回収カテーテルも最近認可されています。

京都九条病院は救急病院として24時間、365日、救急の患者さんに対応しております。またここでは「断らない治療」をモットーにしていますから、安心して受診してください。「断らない治療」

は、私自身医者になってからずっと実現したいと願っていました。受け入れた患者さんに対して「ここでは治療できませんので他の病院に行ってください」と言わないですむように、つねに最新の知識・技術を取り入れていきたいと考えています。



【症 例】心房細動の既往がある67歳女性の患者で、突然の意識障害、左片麻痺で救急搬入された。MRI、MRAで右中大脳動脈血栓症による急性期脳梗塞と診断し(A:動脈が閉塞し(白矢印)、脳梗塞になりかかっている(円内))、発症後2時間でtPAの静脈内投与を開始した。投与開始後45分で急速に意識障害および麻痺は改善し、MRAでも閉塞した動脈が再開通していた(B:白矢印)。患者は約3週間の入院で自宅退院された。



OUR HOSPITAL CONCEPT

京都九条病院の基本理念

良質な医療を安定的に提供します。  
さらに常に最大限最高の医療の提供を目指す  
前向きな姿勢を持ち続けます。

OUR HOSPITAL POLICY

京都九条病院の基本方針

- ① 医療は患者さまとご家族と医療者が協同して行うものと考えます。
- ② 「奉仕の精神」を持ち、親切な対応、サービスの向上を心がけます。
- ③ 公平・公正で良質な地域医療を、安定的に提供し続けます。
- ④ 急性期医療に24時間対応し、専門性の高い高度医療を充実させます。
- ⑤ 治療に関する情報はすべて患者さまに開示し、分かり易く説明します。
- ⑥ 最先端の予防医学・健診技術を用い、「地域の人々の健康」に貢献します。
- ⑦ 地域支援の中核として活動し、トータルヘルスケアを進めます。
- ⑧ 各種研修指定施設として、高い技能を持つ人材を育成します。

「患者の権利」に関する宣言

京都九条病院では、患者さまの個人としての尊厳が守られ、より良い信頼関係の深まりとともに安心して医療が受けられるように、患者さまの権利に関する宣言を掲げます。

- ① 患者さまは、その社会的経済的地位・国籍・人種・宗教・年齢・性別・病気の種類によって差別されることなく、平等な治療を受ける権利を持っています。
- ② 患者さまは、自由に医療機関を選ぶ権利を持っています。
- ③ 患者さまは、十分な説明を受けた上で、治療を受ける権利あるいは治療を受けることを拒否する権利を持っています。
- ④ 患者さまは、医療のどの段階においても別の医師の意見を求める権利を持っています。
- ⑤ 患者さまは、医師ならびに医療従事者が患者さまについて知り得たすべての医療上の情報及び個人的情報が保護される権利を持っています。
- ⑥ 患者さまは、いかなる状態にあってもその人格を尊厳され、また尊厳をもってその人生を全うする権利を持っています。

私達京都九条病院職員は、患者さまの権利を尊厳し、十分な相互理解をもって、患者さまが最善の治療を受けられるよう最大限努力をします。私達京都九条病院職員は、良質な医療を提供し続けるために、常に前向きに努力することを誓います。

脳卒中にならないためには予防が大切です

脳神経細胞は一度傷つくと生き返らないと言われています。だからこそ予防が大事です。脳梗塞の危険因子は、糖尿病、高脂血症、高血圧などいわゆる生活習慣病。そういう危険因子を取り除くことが何よりの予防ですので、定期検診を受け、生活習慣病を指摘された時にはきちんと治療して

ください。一方、クモ膜下出血の多くは脳の動脈に動脈瘤という瘤ができてそれが破れるというもので、前兆がなくいきなり激しい頭痛がして倒れるというケースが殆どですが、脳ドックを受診すれば、動脈瘤の有無をMRI検査で調べることが出来ます。心配な方は脳ドックを受けてみてください。

「自分自身の家族ならどうするか」を基準に治療法を判断しています

不幸にして動脈瘤や脳腫瘍が見つかった場合、比較的大きければケースによっては手術を勧めてい

ます。しかし、脳というのは神経が張り巡らされていてとても繊細ですから、手術には危険も伴いま

す。脳腫瘍などでも、いつも手術して取った方がよいとは言いきれません。そうした場合、一方的に治療法を押し付けるのではなく、まず可能な治療法をいろいろ説明し、患者さんやご家族とよく相談して治療法を決めるようにしています。とはいえ、「どうしますか」と患者さんにすべてを委ねてしま

うと、患者さんはどうしていいかわからなくなつて迷つてしまわれることにもなりかねません。私は、必ず自分の家族ならどうするか、ということを基準に判断し、「もし僕の家族だったら手術をしますか、最終決断はご自身でしてください」というようにある程度の方性を提示したうえで、患者さんに決めていただくようにしています。治療法で迷つたり、悩んでおられる場合は、どうぞ遠慮

なく相談してください。一緒に、最善の方法を考えましょう。

京都九条病院は京都府の「脳卒中の急性期医療を担う医療機関」に指定されています

脳梗塞を発症された場合でも、京都九条病院は地域の病院として、退院後のことを考えた治療を行っています。患者さんが自宅に戻つて暮らすことができるよう、できるだけ早くリハビリを開始する必要がありますが、京都九条病院では急性期の治療を終えたらすぐリハビリを行っています。

課と合同カンファレンスを開き、患者さんの気持ちに添つたりハビリを提供できるよう、スタッフ全員で意思統一を図っています。こうした治療実績が認められ、

当院はリハビリに関して知識・技術・施設ともに充実していますし、月に二回、リハビリテーション

京都九条病院は京都府の「脳卒中の急性期医療を担う医療機関」に指定されています。南区で唯一の指定医療機関としての自負を持ち、これからも最善の医療を提供していきたいと思っています。



# 『ゲストリレーション』について

病院に來られたすべての方を、  
目的に応じてそれぞれの専門スタッフに適切に繋がります。

京都九条病院の受付フロア  
が変わったことにお気づきで  
しうか？。皆さんを笑顔で  
お迎えしている京都九条病院  
全スタッフの中で、一番最初に  
皆さんとお会いしているのが、  
私たち6名のゲストリレーシ  
ョンです。私たちが病院に來  
られたすべての方をそれぞれ  
の目的に応じて、それぞれの  
専門スタッフに繋ぐご案内を  
しています。

病院には、診察の方、お見  
舞いの方、納入業者の方、面  
談の方、打ち合わせの方など  
さまざまな方が来られますの  
で、各々の方を適切にそれぞ  
れのスタッフへ繋がります。内視鏡  
センター、シヨートステイマム、  
同仁会クリニック、健診センタ  
ー等新しい施設・関連施設も  
含め院内だけでなくご来院い  
ただいた方のご要望・ご質問  
にもお答えしています。

皆さんに安心して利用いただけるように、  
分かりやすくご案内しています。

総合案内の専任スタッフは  
6名。2つの総合案内カウンタ  
ーでスタッフが来訪者の方々に  
お声掛けをし、迷うことなく  
スムーズに目的の場所に行つて  
いただけるよう分かりやすく

ご案内しています。さらに、  
2名のフロアスタッフが1階フロ  
ア内を回り、患者さまをはじ  
めフロア内におられる全ての方  
に目を配り、こちらからお声  
掛けをして、さまざまなニーズ

にお応えし、安心して病院で  
すごしていただけるようお手  
伝いをしています。

これまでの総合受付に総合  
案内、ゲストリレーション、総  
合相談が加わったことで、京  
都九条病院はよりやさしい病  
院になりました。総合案内ス  
タッフをはじめすべてのスタッ  
フが、皆様に気持ちよくご利用  
いただけるようゲストリレーシ  
ョンに努めていきますので、何  
でもお気軽にお  
尋ねください。



**宮崎 絵名**  
患者さん目線を忘れずに、  
親切なお応えを心がけています。

**橋本 愛**  
笑顔とあいさつからの  
コミュニケーションを  
大切にします。

**佐藤 永梨**  
心のこもった対応を心がけています。

**山下 綾乃**  
笑顔大切に、患者さんにとって  
一番近い存在でありたいと  
思っています。

**前田 留里**  
人間ドックについて等、  
お気軽にご相談下さい。

**溝川 香菜**  
来院される方の病気の辛さ、  
心配な気持ち、不安な気持ち、  
色んな方の思いを  
少しでも和らげるように。



## 総合相談

- ・紹介患者さまの受付
- ・入院・転院・退院相談
- ・療養中の相談
- ・訪問看護・訪問介護の相談
- ・介護保険の相談
- ・治療費支払の相談
- ・交通事故の相談・労災の相談
- ・身体障害者手帳の相談
- ・検診相談
- ・人間ドック受診相談

※その他何でもご相談ください。



京都九条病院  
医事課 課長  
三好 智和

京都九条病院  
外来看護課長  
早野 眞規江

京都九条病院  
看護副部長  
南田 喜久美

京都九条病院  
地域医療連携推進 主任  
医療ソーシャルワーカー  
道下 智之



京都九条病院  
看護部長・地域医療部長  
横尾 重子

## 『総合相談』について

皆さんの健康・医療・介護  
などに関する悩みや  
不安をお聞きします。

私たち京都九条病院は地域  
の中核病院として、地域の方が  
安寧な健康状態が保てるよう  
に全力でサポートしております。

この度、地域の皆さんの医療・  
介護に関する様々な悩みや問  
題についての「総合相談」を開  
設いたしました。総合相談では、  
入院中の方、外来通院されて  
いる方、ご家族の方、ご友人の  
方、また病院には通院してい  
ないけれど、この地域にお住ま  
いの方を対象に健康に関する不  
安や悩み、介護に関する不  
安や悩みなどについての相談を  
受けています。

相談を受けたスタッフは、相  
談される方のお話をじっくり  
聞かせていただきます。  
そして安心して療養生  
活や家庭生活が送れる  
ように、また落ち着いた

状態で介護ができるように、  
サポートさせていただきます。

医療法人同仁会は  
京都九条病院を中心に、  
皆さんの悩みや不安を  
解決します。

京都九条病院では、急性期  
におけるチーム医療を行い、一  
刻を争う危険な状態の患者さ  
んの生命を救命しています。

入院早期から、患者さんやご  
家族の身体的・心理的・社会  
的相談に応じます。そして、  
急性期を乗り切った患者さん  
やご家族にとって常に継続的  
で細やかな医療や介護が一環し  
て行われるように、法人全体  
での連携、または地域の病院・  
医院や施設と連携を図ります。  
当法人は、介護サービス全  
般を支援するケアマネージャー  
が在籍する「居宅介護支援マ  
ムステーション」や、「訪問看護  
ステーション・مام」、介護老人  
保健施設「مامクオーレ」「マ

ムフロトラ」、短期入所生活介  
護「シヨートステイ マム」そし  
て「同仁会クリニック」や予防  
医学を中心とする「同仁会疾  
病予防研究所」を併設してい  
ます。患者さん一人ひとりの  
健康レベルに最も適したサポー  
トをご提供し、地域で安心し  
て生活していただけるように  
トータルにサポートしています。

当院の患者さんや  
ご家族の方、地域の皆さん、  
気軽にご相談ください。

「総合相談」は地域の皆さん  
の医療サービスの向上・充実の  
ための起点となり、地域医療  
のさらなる発展に貢献できる  
ように努力します。どうぞ、  
幅広くご利用ください。





**MEDICINE**  
for **HEALTH**

知ってよかった「お薬豆知識」講座④

講師：京都九条病院 薬剤部長  
友沢 明德  
Akinori Tomozawa

**災害時の命綱  
お薬手帳。**



さきの東日本大震災では多くの命が失われ、生活や産業が、そして医療もまた失われました。慢性疾患をお持ちの被災者の方々が治療を継続していくことは今なお困難な状況です。とくに初期は、高血圧や糖尿病の薬など、なくてはならない薬が津波で流され、ボランティア医師には個々の被災者の情報がなく、検査もままならない。そんな時、役だったのが「お薬手帳」だったといわれています。

「お薬手帳」とは、それを見ればいつ、どんなお薬が処方されたのか、目でわかる記録で、病院・医院や薬局にかかると都度薬の内容を書き込んで（またはシールとして貼って）もらうためのコンパクトなノートです。貴重品とともに持ち出したお薬手帳を頼りに被災薬局から薬をかき集

めて提供した同じ被災者の薬剤師もいました。また、災害医療チームでは、お薬手帳の内容からその方の基礎疾患やその病状を把握して同じ薬を処方するだけでなく、風邪薬等との飲み合わせのチェックや、副作用やアレルギーの確認に活用したそうです。いわば、お薬手帳が命綱の役割を果たしたのです。当院でも入院時にお薬手帳を活用しています。まず入院時にお薬手帳を確認し、その内容を処方時の参考にします。退院時には①入院中に使用した主な薬②退院時の持ち帰り薬③副作用・アレルギーの記録④調剤に関する患者さんの要望や医師の指示事項⑤薬剤師の指導内容等を退院時指導書ラベルにしてお薬手帳に貼っています。それにより、入院中の処方変更も簡単に確認でき、要一包化や飲んではいけない薬等患者さん特有の情報を他の医療機関や薬局にも申し送ることができます。複数の医療機関を受診される方では特に威力を発揮します。薬の重複（同じ成分で名前の違う薬はたくさんあります）、悪い飲み合わせ、避けるべき薬…等々。最近では気になる検査値や購入したサプリメントを記録したり、患者さん自身が活用されることも増えています。

ポイントは、必ず一冊にまとめること、そして受診時や薬局では必ず提示することです。いざという時の命綱にもなるお薬手帳。特に慢性疾患をお持ちの方はしっかりと活用してくださいね。



**NURSING**  
for **HEALTH**

暮らしの中で病気予防「健康ライフ」講座⑤

京都九条病院  
看護部外来

**日常でできる  
色々な工夫を試して、  
厳しい夏を  
乗り切ってください。**

日毎に暑さも厳しくなり、過ごしにくい日が多くなってきました。夏の暑さで、身体がだるい、食欲が低下する、夜に充分眠れないなど、辛く感じることはないですか？



今回は、少しでも涼しく過ごす工夫を紹介します。昔から、水の気化熱を利用する打ち水や、陽射しを遮るように窓辺に朝顔やヘチマなどを伝わせるグリーンカーテンなどが言われています。エアコンのように、室外機からの熱風が外気温を更に上げることもないですし、節電にもつながりますね。ただし、打ち水は朝・夕に行うのが効

果的で、暑さのピークを迎える真昼に行くと、湿度が上がり、逆効果になつてしまう事があるようです。エアコンを使うときには、外気温との差が5℃迄となるように調節し、気温差を少なくすることが大切です。だるい感じは暑さのみでなく、発汗の多さに取り込む水分の量が追い付かなくて、脱水になりかけている場合もあります。水分補給は一度に多量ではなく、少量ずつこまめに摂るようにしましょう。運動時や、屋外で長時間過ごす場合など、スポーツ飲料を利用すると、ミネラル分の補給もできて身体にやさしいです。そして、スポーツ飲料は、薄めて飲んだり、水やお茶と

交互に飲んだりすると良いでしょう。このように、日常でできる色々な工夫を試して、厳しい夏を乗り切りたいと思います。しかし、それでも何か様子がおかしい、といった場合には身体からの不調を訴えられるサインであることも考えられますので、医師の診断を受けることをお勧めします。当院では、総合案内のカウンターや、総合相談のコーナーを新しく開設しましたので、受診の際にはご利用ください。

ご利用ください。







ウインドサーフィンは自分にとって無くてはならない趣味ですね、時間があれば海へ行って、1日中楽しんでいます。  
※ちなみに写真中央に写っているのは私なんです！

ウインドサーフィンで  
リフレッシュ。  
海に出かけるだけで、  
気分転換になります。

FACE  
of DOCTOR

ドクターの「プライベート拝見」数珠つなぎ②

京都九条病院 消化器内科

奥田 孝太郎先生  
Koutarou Okuda



4月から消化器内科で消化器内視鏡専門医として勤務しております。京都九条病院は中規模病院ですが、自分の持つ技術、経験を生かし大学病院とも遜色ない最新の治療を提供していきたいと思っています。

**私**は体を動かすのが好きで、普段はジムに通ってランニングマシンなどで体力づくりに努め、時間がある時には海に出かけてウインドサーフィンを楽しんでいます。ウインドサーフィンは学生時代に友人たちと一緒に始めた趣味ですが、そのスピード感、他にはない爽快感が魅力。運動

にもなるし、何より海に行くだけでも気分転換になります。専門の医学書なども風を待ちながら海辺で読むことが多いんですよ。

**短**い休みなら静岡など国内の海ですが、長期の休みが取れた時には海外の海にも出かけます。なかでもハワイのマウイ島やメキシコのバハカリフォルニアは波と風のコンビネーションがウインドサーフィンにぴったり。波の上を滑るようにセーリングしていくのは、ホントに気持ちいいんです。夏休みにはまた海外の海に行ってみたいですね。

LOVE  
my HOSPITAL

私の病院自慢あれこれ②

京都九条病院のいいところ。  
こんなところがわたしたちの自慢です。

病院のここが好き!!

好きな言葉  
favorite word  
「感謝」  
高田 夏実  
事務部 総務課



スタッフの細やかな心遣いが嬉しいですね。患者さんだけでなく、同じスタッフにも優しく接してくれます。4月に入社したばかりの私には、自分から声がかげづらい時もあったのですが、上司の方から積極的に話しかけてくれ、スムーズにコミュニケーションが取れるようになりました。何もかも分からない状態で毎日勉強の日々。でも、新しいことを覚えていくことが楽しく、逆に向上心が湧き出てきます。これからしっかり専門知識を身につけて皆さんのお役に立ちたいと思っています。

好きな言葉  
favorite word  
「一期一会」  
伊藤 らんな  
リハビリテーション課 作業療法士



リハビリテーション課は仲がよくコミュニケーションが密。常に先輩や同僚スタッフと話し合いをしながら治療を進めていくので、互いに切磋琢磨できるし、患者さんにも最適の治療を提供できるんですよ。私は中・高校時代、新体操の選手で、ケガをした時にリハビリのお世話になったことから、自分も治す側になりたいとこの仕事に。患者さんの不安な気持ちが分かるので、一人ひとりに寄り添いその時々を大切に丁寧に患者さんに対応していきたいと思っています。

好きな言葉  
favorite word  
「笑顔」  
日比野 洋子  
看護部 4階病棟 課長



皆が協力的なことですね。4階病棟のスタッフは約30名という大所帯。私はこの4月に課長になったのですが、みんなが助け合い支えてくれるので助かっています。これからも団結して充実した看護を提供していきたいと思っています。  
患者さんには自分を特別扱ってほしいという気持ちがあります。平等に対応しながらも、一人ひとりに自分を気にかけてくれているんだと感じてもらえるような看護を心がけたいです。

好きな言葉  
favorite word  
「ポジティブ」  
生田 真紀  
検査部 検査課



すみずみまでスタッフの目が行き届いていること。中規模病院ならではのいいところだと思います。普段は主にエコー検査をしています。皆さんしんどい状態で検査を受けに来られるので、ちょっとしたことでイライラされます。いつも平常心で対応し、丁寧に話を伺うようにしています。それは患者さんの気持ちが落ち着くのに加えて、検査の精度も高まるからなんです。時には、ドクターに見てもらった段階と検査を受ける段階で痛い箇所が違ってきていたりすることもありますから。





**京都九条病院 院内コンサート**  
 平成23年7月3日(日) 14:00~15:00  
 京都九条病院 1階 ロビー

オーケストラアンサンブル・クロロバーのみなさんと  
 山本院長とスタッフはみなさんで楽しみましょう♪

入居者様、来賓者様、ご来賓の皆様、  
 どうぞご参加ください!!

プログラム  
 虹の彼方に  
 四季の歌  
 雨降るお月さん  
 北国の春  
 ドレミの歌

院内散策  
 さんさんく  
 ⑬ 『第7回院内コンサート』  
 主催 京都九条病院

平成23年7月3日(日)、第7回 京都九条病院院内コンサートを新しくなった二階待合フロアにて開催しました。病院の増改築工事のため、前回のコンサートから2年ぶりの開催。皆さん楽しみにされていたようで、入院患者さんをはじめご家族の方や地域の方、たくさんの方々が集まってくださり、会場は満員の盛況となりました。出演してくださったのは、おなじみの熟年オーケストラ「アンサンブル・クロロバー」の皆さん。もちろん山木院長もホルン奏者として参加、見事な演奏を披露してくださいました。



コンサートは、山木院長の「アンサンブル・クロロバー」のメンバーの平均年齢は約70歳超。このなかでは私は若手なんですよ」というユーモラスな挨拶でスタート。会場の雰囲気や和んだところで、季節に因んだ「七夕さま」の演奏が始まり、皆さんが楽しみました。

この「七夕さま」をはじめ「雨降りお月さん」「虹の彼方に」「忘れな草をあなたに」「四季の歌」など童謡、映画音楽、歌謡曲、ポピュラーソングを取り混ぜた選曲で全14曲。どれも親しみやすい曲ばかりで、皆さん口ずさんだり演奏に合わせて拍子を取ったりしながら楽しんでおられました。曲の合間には、指揮者の高田逸夫さんがそれぞれの曲にまつわるエピソードを軽妙な語り口で紹介してください、皆さんより親しみを感じられた様子でした。最後に、「北国の春」と「ドレミの歌」を全員で合唱。手拍子も入り、フロアは皆さんの元気な歌声でいっぱい。約1時間のコンサートの終了時には、素晴らしい演奏をしてくださったオーケストラに、何度も大きな拍手が贈られていました。

京都九条病院では、これからも楽しい院内コンサートを続けていく予定です。どうぞ次の機会もご期待ください。



<p>医療法人同仁会(社団)  <b>京都九条病院</b>                  〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町10                  TEL 075-691-7121・FAX 075-691-5311                  www.dojinkai.com/</p>	<p>医療法人同仁会(社団)  <b>ショートステイ マム</b>                  〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町10                  TEL 075-691-7667・FAX 075-691-7671                  www.dojinkai.com/</p>	<p>医療法人同仁会(社団)  <b>同仁会クリニック</b>                  〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町30                  TEL 075-691-7766・FAX 075-693-6175                  www.do-clinic.com/</p>	<p>医療法人同仁会(社団) 同仁会クリニック(併設)  <b>同仁会疾病予防研究所</b>                  〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町30                  TEL 075-691-5070・FAX 075-693-6135                  www.do-clinic.com/yobo/</p>
<p>医療法人同仁会(社団)  <b>介護老人保健施設 マム フローラ</b>                  〒617-0853 京都府長岡京市奥海印寺奥ノ院25-2                  TEL 075-958-3388・FAX 075-951-5300 www.dojinkai.com/mam_f/</p>	<p>医療法人同仁会(社団) 京都九条病院  <b>訪問看護ステーション・マム</b>                  〒601-8454 京都市南区唐橋羅城門町16                  TEL 075-661-3820・FAX 075-661-3835 www.dojinkai.com/mam_s/</p>	<p>京都市唐橋地域包括支援センター                  京都市唐橋地域包括支援センター 介護予防支援事業所                  〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町10                  TEL 075-692-3368・FAX 075-692-3348 www.dojinkai.com/mam_s/</p>	
<p>医療法人同仁会(社団)  <b>介護老人保健施設 マム クオーレ</b>                  〒601-8326 京都市南区吉祥院南落合町40-3                  TEL 075-691-7755・FAX 075-691-7765 www.dojinkai.com/mam_c/</p>	<p>医療法人同仁会(社団)  <b>居宅介護支援マムステーション</b>                  〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町10                  TEL 075-691-7200・FAX 075-691-7116 www.dojinkai.com/mam_s/</p>	<p>京都九条病院(提携)・同仁会クリニック(併設)  <b>メディカルフィットネスクラブ SHIN-SHIN</b>                  〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町30                  TEL 0120-558-756・FAX 075-672-1414 www.e-shinshin.com/</p>	